

























もう…♥ 早すぎですよ我が夫…♥  
まだおちんちんに差し込んで、30秒も経っていませんよ…♥  
それなのに私達が、「ふう〜…♥♥♥」なんて、

優しく息をおちんちんに吹きかけただけで、この有様ですか…♥  
あまりにも簡単に、おちんちんがむくむく勃起して…♥  
バツキバキに硬くなってしまったな…♥

我慢汁も垂れてきているぞ…♥♥♥  
ふふ、こんなに粘り気の有りそうな  
とろとろの我慢汁は初めて見るな…♥

なにか勘違いしていませんか、我が夫…♥  
今回は貴方の大好きな  
『らぶらぶお搾りえっち』ではないのですよ…♥  
ただの『魔力採取』…♥

こうやって、何をされているかもわからないまま…♥  
貴方のおもらし精液をひたすら  
搾り取るだけの、『作業』なのです…♥  
期待する事が、どこにあるというのです…♥

私達姉妹がお前のおちんちんで何をしようと、  
お前は想像するしか無い…♥♥♥  
**可哀想なマスターだ…♥** まさか…♥  
これで興奮するなどという事はあるまい…♥  
それとも好き放題、おちんちんを使ってほしくて…♥  
私達に『魔力採取』を頼んだのか、マスター…♥

ふふ…♥ 本当に…♥♥♥  
私達に虐められるのが大好きなんですから…♥  
**オス失格**ですよ…♥ それならば…♥  
マゾ夫の好きな方法で、  
とびきり悦ばせてから搾り取らなくては…♥  
たくさん気持ちよく漏らした精液は、  
それだけ上質な魔力になりますからね…♥  
手始めに、採取カップを精液で  
満杯にしてもらいましょうか…♥ では…♥



こうして私達のおっぱいの谷間にカップを置いて……  
ふふ、おっぱいが大きいというのは便利ですね……  
手で支えることもなく置ける…… それに……

見てくれがスケベこの上ないな……  
4つのおっぱいの間で採取カップがゆらゆらと……

呼吸に合わせて揺れて……  
マスターがこの光景を見られないのはとっても残念だ……  
お前が大好きな…… 火照って汗でぬるぬるになった、  
たっぷり爆乳おっぱいの乳合わせなのにな……

ふふ、我が夫が見れば、おちんちんをスポンの中で  
バキバキに硬くするのが簡単に想像できますね……  
もう目の前のおちんちんは、  
とうの昔に射精寸前ですが……

今のおちんちんの状態で私達の姿が見えてしまったら……  
それだけで……  
触つてもいけないのに暴発してしまいますね……



ふふ……♡ 可哀想なマスターだ……♡  
おっぱいで虐められて搾られるのも、  
暴発射精してからかわれるのも、大好きだもんな……  
そうだろう、このマソ男め……♡ 大丈夫だぞ……♡  
爆乳乳合わせが見えない代わりに、  
たくさん気持ちよくさせてやるからな……♡  
この舌を使ってな……♡

アルトリアの……♡

肉厚で長あい、オスの精液を搾るために作られた様な舌で

愛されて搾り取ってもらえる男など……♡

どの人類史でも、どの異間帯を探しても……♡

我が夫にしか許されていませんよ……♡

貴方の妻である私が認めた、

貴方に心の底から心酔している我が妹の責め、

存分にそのバッキバキおちんちんで堪能することです……♡

れろお…♡ んちゅ…♡ つちゆるるる…♡  
ふふ、なんて熱さだ…♡  
これではお前をイカせる前に、  
舌が焼けてしまうぞ…♡  
おちんちん、硬くしすぎだ…♡  
ただでさえ息を吹きかけられただけで  
こんなに硬くしているのにだ…♡  
少し舐めただけで、ぶるぶる震えだして…♡  
もうイきそうになっているんだな…♡

アルトリアの舌技は超抜級…♡ 巧すぎるのです…♡  
お前の舌と口にかかれば、我が夫のよわよわおちんちんなど、  
**精液のぶりぶり出るぶっとい肉ストロー**と変わらないぞ…♡  
その技でどれ程、このおちんちんから精液を貪り食ってきたのか…♡  
誇って良いぞ、アルトリア…♡

姉上からこうも褒められるとはな…♡  
悪い気はしない…♡ じゆるるるっ…♡ つは…♡ 美味いぞ…♡  
そこいらのハンパーガーを山ほど食べるよりも、よほど病み付きになる…♡  
いつまでも舐めていたい程だ…♡  
つちゆるるるる…♡ んちゅらうらうら…♡

もう…♡ そんなに吸い付いて…♡  
こんなに愛されている我が夫が羨ましくなってしまう…♡  
私にもおちんちんを舐めさせろアルトリア…♡  
えろお…♡ ちゅぶっ…♡ はむう…♡  
んっちゆるるる…♡ はあああ…♡

姉上…♡ マスターのおちんちんは美味いだらう…♡  
もうすぐおもらし射精する頃だ…♡

**ドバドバ気持ちのいい白いおしっこが吐き出せるように…♡**  
思いっきりイカせてやろう…♡  
はあむっ…♡ ぢゅらうらうら…♡

そうだな…♡  
ふふ、たくさん気持ちいいおしっこを  
吐き出すのですよ、我が夫…♡  
この採取カップを埋めるような…♡  
男らしい**格好いい射精**を見せてください…♡  
頑張ってくださいね…♡ んっぢゆるるるっ…♡  
ぶぢゆるるるるるっっっ…♡



ふふ…♡ ようやく射精が収まったな…♡  
凄いな…♡ たった一回、射精しただけだぞ…♡  
私達の舌でとろとろに舐められて、  
たった一回射精しただけなのに…♡  
こんなにドバドバ射精して…♡  
あつという間にカップを満たしてしまった…♡  
流石マスターだ…♡  
私達の舌で虐められて、からかわれて…♡  
気持ちよかったんだな…♡

100ミリリットルカップをこつもあつさり満たしてしまえますか…♡  
普通の男性は、一回の射精で精々5ミリリットル程度しか  
射精できないそうですよ…♡ それの20倍も一度に射精できるとは…♡  
数々の修羅場を超えた分、生存本能が異常に発達して…♡  
生殖欲求の塊になってしまったのか…♡

ふふ…♡ それとも、私達に鍛えられたからなのか…♡  
マスターの射精量が多いとは口頃思っていたが…♡ それ程とはな…♡  
世の男はこれの1割にも満たない量しか射精できないのか…♡  
ふふ…♡ 私達のマスターは相当に優れた「オス」らしいな…♡  
姉上と私達を「メス」にして侍らせるには、  
これくらい軽く射精出来なければ務まらないからな…♡

おちんちんも大きくて…♡ 射精量も申し分ないつよつよのオスです…♡  
なのに、こつやっておちんちんを虐められるのが大好きで…♡  
よわよわマゾマスターなのが、本当に勿体ないですね…♡  
だからこそ愛し甲斐があるのですが…♡ 毎日私達が鍛えてあげても…♡

こうして簡単に大量射精して…♡  
日毎にますますおちんちんが弱くなってしまつ…♡  
遂には飽きもせず「今日も虐めて♡」  
などと乞つようになつてしまつたからな…♡ 全く…♡  
どうしようもないマゾマスターだな…♡  
ふふ、本当に可愛いぞ…♡

これはまたたくさん気持ちよくしてあげなければ…♡  
もっと強烈な刺激と…♡  
容赦のない搾精とで、マスターのおちんちんを  
私達好みに作り変えてあげないといけません…♡  
そのために二つ用意してきたものがあります…♡  
今から使うことにしましょう…♡ 私のとおきですよ…♡



ふふ…♥ 現代には『オナホール』というもので、  
男の精液を搾り取る道具がある、ということを知っていますよ…♥  
男性のおちんちんをどう責めれば、一番気持ちがいいか…♥  
調べられるだけ調べましたので、どういふものは心得ています…♥  
ですので…♥ このようなものを用意しました…♥

ほう…♥ なるほど、これは…♥  
姉上はえげつないな…♥  
このうねうね蠢く肉の塊…♥  
なかなか気色の悪いいかにも淫具…♥  
触手を生成してオナホールに束ねた…♥  
『触手オナホ』を作ったのか…♥  
気持ちの良さそうな道具を作ったものだ…♥

流石アルトリア、勘がいいですね…♥  
海魔由来の触手を少しばかり、  
魔術で弄り、育てました…♥  
飼料に私の母乳と、採取した我が夫の精液を与えて…♥  
男性の…♥  
我が夫の、快楽に弱すぎる情けないおちんちんに、  
**地獄のような快楽**を与えながら、  
沢山の精液を搾り取れるようにと…♥

聞いたかマスター…♥  
これからお前のおちんちんは…♥  
今にもお前のおちんちんに  
**貪られてしま**うらしいぞ…♥  
食われたら最後、枯れ果てるまで  
オスちんぽから絶対に離れそうにない、  
こわい**暴食触手オナホ**に  
搾り取られてしまっんだ…♥  
可哀想なおちんちんだな…♥

アルトリアの言うとおりですよ、我が夫…♥ それに…♥  
このオナホールは私の使役する使い魔のようなもの…♥  
どう責めるか、どう刺激するか…♥ もはや**私の手足同然**です…♥  
すべて私の意のままに動くようになっていきます…♥  
ふふ、まずは…♥ 我が夫の**限界勃起バキバキ**おちんちんを、もっともっと…♥  
**限界を超えて大きく**なってもらいましょうか…♥





ほら…♡ 行きなさい『我が子達』…♡

我が夫のおちんちんの中へ…♡

尿道をぬるぬるの粘液で擦り上げて…♡

輸精管にこぼりこびりついて、

きちぎちに詰まった精液を直接搾り取るのです…♡

くふふ…♡ マスターのおちんちんの鈴口を押し広げて…♡

触手がねじ込まれていくぞ…♡

2本目…♡ もう3本も入ってしまった…♡

マスターのおちんちんの尿道は随分太くて柔らかいんだな…♡

たくさん射精できる絶倫おちんちんだけはある…♡

この触手は気持ちいいだけではありませんよ…♡  
表面から媚薬効果のある粘液を分泌しながら、  
おちんちんに快楽を刷り込んでいくんです…♡  
男根の増大と強力な催淫効果…♡

加えて感度の大幅な増幅効果を付与しています…♡  
触手が肌に触れるとたちどころに発情、  
射精したくて仕方がなくなってしまう劇物です…♡  
こんなものをおちんちんに直接塗り込んだら…♡

おちんちんがイキっぱなしで…♡

壊れてしまうな…♡ 聞いているかマスター…♡

お前のおちんちんが壊されてしまつかもしれないぞ…♡

姉上ならば、すぐに再生させてくれるだろうがな…♡

当然です…♡ 魔女ですもの…♡

それに私達のマスターはおちんちんを

甘く虐められるのが大好きでしょう…♡

この程度のおちんちん虐めでは、

どうということはありません…♡

そうでしょう、我が夫…♡ ふふ…♡ そろそろ、  
媚薬効果でおちんちんの限界を超えて勃起して…♡

大きくなる頃合いですよ…♡

よく見ていなさい、アルトリア…♡



…ほう♡♡ 驚いたぞ…♡ 一回りは大きくなったな…♡  
**30センチはありそうな極太デカちんぽの完成だ…♡**  
ものすごい熱さだ…♡ 顔が火傷してしまいそうだ…♡  
オスの匂いもかなり濃くなってる…♡  
鼻がオスの匂いに犯されているようだ…♡  
この触手の発情効果は本当らしい…♡♡

この触手オナホは…♡ 強力な媚薬を常時分泌して男を  
いつまでもイキ狂わせられる、私の自信作です…♡♡  
特に我が夫に完全に適合するよう調製しましたので…♡  
射精量も、今までの倍以上吐き出せるはずですよ…♡  
尤も…♡ 感度も今までのと比較にならないですが…♡

ふふ、ともすれば…♡  
ちよっとした刺激でもバキバキに勃起して…♡  
**常時とろとろおもらしする**ような  
情けない射精をこの拡張尿道から  
垂れ流し続けてしまふのか…♡  
これは**おむつが必要になる**かもな…♡

おちんちんおづい  
おちんちんおづい

このおちんちんも…♡ 尿道から輸精管まで、オス汁を  
無理やり引きずり出す発情媚薬まみれ…♡  
すでに射精していても、何もおかしくありませんよ…♡  
この尿道を塞いでいる触手に塞がれて…♡  
**イキたくてもイケない、そんな快樂地獄を**  
味わっているのかも知れませんが…♡

気持ちいいか、マスター…♡  
それとも、**気持ち良すぎて辛い**のか…♡  
白いおしっこ、好きなだけおもらしても良いんだぞ…♡  
姉上…♡ これだけではないんだろう…♡  
わざわざマスターのおちんちんをこんなに大きくさせて…♡  
もつとえげつない責めを、用意しているんだろう…♡

当然でしょう…♡

**私はこの男の妻であり、魔女…♡**

マスターの快樂のためなら手を尽くす女ですもの…♡

だそうだが、マスター…♡  
射精できなくて尿道に詰まったとろとろザーメン、  
いまから吐き出させてやるからな…♡







ふふ…♡ 触手の隙間を押しつけて…♡ どくどく精液が噴き出してきているぞ…♡  
なんて下品で、いやらしい音なんだ…♡  
こんなにどろっどろの種付け精液を子宮に注がれては…♡  
妊娠どころか…♡ 双子や三つ子が出来てしまつかもしれない…♡

元来我々サーヴァントでは妊娠ができませんが…♡ 子作りをするとなれば…♡  
これとは比較にならない媚薬を作ります…♡  
30センチ超えの極太メス殺しおちんちんをイキ狂わせながら…♡  
一日中、腰が砕けるまで二心不乱に振って…♡  
真つ白な精液を部屋中に撒き散らしながら…♡  
私達二人をハメ潰してもらいますので…♡

# がっ射か河原

私達二人だけではないぞ、姉上…♡ セイバーやランサーの私達も…♡  
マスターに大きくされた爆乳おっぱいを使って…♡  
毎日毎日、乳肉でマスターのおちんちんを  
虐めながら搾り取っている他のアルトリア達もた…♡

そうだったな…♡ 私の妹達は…♡  
このどうしようもないマゾ夫が大好きで…♡  
早漏おちんちんをおっぱいで包み込んで一日中搾り取るような…♡  
自分たちの頭より大きな爆乳おっぱいを  
おちんばケースにしている淫乱なメス達ばかり…♡  
マスターの子種汁を子宮で食べ尽くしたいと…♡  
そう願わないはずは無いでしょう…♡

私も…♡ 他のクラスの私達も…♡  
『暴食』で『食いしん坊』だからな…♡  
たったの二日や三日で種付けが  
済むと思わないことだな、マスター…♡  
七日七晩は腰を振って…♡  
子作り孕ませドスケベセックスに  
精を出してもらおう…♡



もう…♡ 先程からずーっと…♡ 射精しっぱなしですね…♡  
射精を始めてから三分は経ちましたか…♡  
おちんちんが一回跳ねる度に…♡ 「どくっ♡どくっ♡どくっ♡」と…♡  
ものすごい量の精液が溢れ出してきています…♡  
まだ全然勢いが衰えません…♡

この大食らいの触手でもまるで食いきれずに、  
これだけの精液が漏れてくるとはな…♡ なんて射精量だ…♡  
もう1リットルは射精しているぞ…♡  
媚薬で強制的に精液の量が増えているとは言え、  
流石の絶倫だな…♡

これでこそ私達を侍らせるに相応しい夫ですね…♡  
これだけの精液を毎日私達姉妹に浴びせて…♡  
「このメス達は俺のモノだ」と  
マーキングしているのですね…♡  
また惚れてしまいます…♡  
こんなに敏感で、よわよわおちんちんなのに…♡

カリ高でぶつとい、  
バッキバキに勃起したつよつよおちんちんで…♡

だめ、まへっ、だめっ♡  
かみふりやろっ♡

吐き出される精液も、このテカ玉で射精できずに凝り固まって…♡  
グツグツ煮詰まった半固形こつてりザーメンだ…♡  
子宮が疼くな…♡♡♡ ふふ…♡  
触手オナホに犯されて、これだけ射精しても…♡  
萎える兆しが見えないぞ…♡

まだまだ射精できるぞ、  
とでも言いたげな生意気おちんちんですね…♡  
ふふ…♡ 安心してください我が夫…♡  
この触手オナホは…♡  
まだまだ搾り足りなさそうですもの…♡

このまま私達が見守っていてやるから…♡  
好きなだけ触手に犯され、搾られ…♡  
種付精液を吐き出し続けるが良い…♡  
こいつは私に似て食いしん坊だ…♡  
いつまで搾り続けるかな…♡ 楽しみだ…♡

我が夫…♡ 夜はまたまた長いのです…♡  
正気を失わないよう、励ましてあげますから…♡  
ふふふ…♡♡♡ 頑張ってくださいね…♡



もう……♥ 早すぎですよ我が夫……♥  
まだおちんちんに差し込んで、30秒も経っていませんよ……♥  
それなのに私達が、「ふう〜……♥♥♥」なんて、

優しく息をおちんちんに吹きかけただけで、この有様ですか……♥  
あまりにも簡単に、おちんちんがむくむく勃起して……♥  
バツキバキに硬くなってしまったな……♥

我慢汁も垂れてきているぞ……♥♥♥  
ふふ、こんなに粘り気の有りそうな  
とろとろの我慢汁は初めて見るな……♥

なにか勘違いしていませんか、我が夫……♥  
今回は貴方の大好きな  
『らぶらぶお搾りえっち』ではないのですよ……♥  
ただの『魔力採取』……♥

こうやって、何をされているかもわからないまま……♥  
貴方のおもらし精液をひたすら  
搾り取るだけの、『作業』なのです……♥  
期待する事が、どこにあるというのです……♥

私達姉妹がお前のおちんちんで何をしようと、  
お前は想像するしか無い……♥♥♥  
**可哀想なマスターだ……♥** まさか……♥  
これで興奮するなどという事はあるまい……♥  
それとも好き放題、おちんちんを使ってほしくて……♥  
私達に『魔力採取』を頼んだのか、マスター……♥

ふふ……♥ 本当に……♥♥♥  
私達に虐められるのが大好きなんですから……♥  
**オス失格**ですよ……♥ それならば……♥  
マゾ夫の好きな方法で、  
とびきり悦ばせてから搾り取らなくては……♥  
たくさん気持ちよく漏らした精液は、  
それだけ上質な魔力になりますからね……♥  
手始めに、採取カップを精液で  
満杯にしてもらいましょうか……♥ では……♥



こうして私達のおっぱいの谷間にカップを置いて……  
ふふ、おっぱいが大きいというのは便利ですね……  
手で支えることもなく置ける…… それに……

見てくれがスケベこの上ないな……

4つのおっぱいの間で採取カップがゆらゆらと……  
呼吸に合わせて揺れて……

マスターがこの光景を見られないのはとっても残念だ……  
お前が大好きな…… 火照って汗でぬるぬるになった、  
たっぷり爆乳おっぱいの乳合わせなのにな……

ふふ、我が夫が見れば、おちんちんをスポンの中で  
バキバキに硬くするのが簡単に想像できますね……  
もう目の前のおちんちんは、  
とうの昔に**射精寸前**ですが……

今のおちんちんの状態で私達の姿が見えてしまったら……  
それだけで……

触つてもいないのに**暴発**してしまいますね……



ふふ……♡ 可哀想なマスターだ……♡  
おっぱいで**虐められて搾られる**のも、  
暴発射精してからかわれるのも、大好きだもんな……  
そうだろう、このマゾ男め……♡ 大丈夫だぞ……♡  
爆乳乳合わせが見えない代わりに、  
たくさん気持ちよくさせてやるからな……♡  
この舌を使ってな……♡

アルトリアの……♡

肉厚で長あいい、オスの**精液を搾る**ために作られた様な舌で

愛されて搾り取ってもらえる男など……♡

どの人類史でも、どの異間帯を探しても……♡

我が夫にしか許されていませんよ……♡

貴方の妻である私が認めた、

**貴方に心の底から心酔している我が妹の責め、**

存分にそのバッキバキおちんちんで堪能することです……♡



れろお…♥ んちゅ…♥ つちゆるるる…♥  
ふふ、なんて熱さだ…♥  
これではお前をイカせる前に、  
舌が焼けてしまうぞ…♥  
おちんちん、硬くしすぎだ…♥  
ただでさえ息を吹きかけられただけで  
こんなに硬くしているのにな…♥  
少し舐めただけで、ぶるぶる震えだして…♥  
もうイきそうになっているんだな…♥

アルトリアの舌技は超抜級…♥ 巧すぎるのです…♥  
お前の舌と口にかかれば、我が夫のよわよわおちんちんなど、  
**精液のぶりぶり出るぶっとい肉ストロー**と変わらないぞ…♥  
その技でどれ程、このおちんちんから精液を貪り食ってきたのか…♥  
誇って良いぞ、アルトリア…♥

姉上からこうも褒められるとはな…♥  
悪い気はしない…♥ じゆるるるっ…♥ つは…♥ 美味いぞ…♥  
そこいらのハンバーガーを山ほど食べるよりも、よほど病み付きになる…♥  
いつまでも舐めていたい程だ…♥  
つちゆるるる…♥ んちゅらうらうら…♥

もう…♥ そんなに吸い付いて…♥  
こんなに愛されている我が夫が羨ましくなってしまう…♥  
私にもおちんちんを舐めさせろアルトリア…♥  
えろお…♥ ちゅぶっ…♥ はむう…♥  
んっちゆるるる…♥ はあああ…♥

姉上…♥ マスターのおちんちんは美味いだらう…♥  
もうすぐおもらし射精する頃だ…♥  
**ドバドバ気持ちのいい白いおしっこが吐き出せるように…♥**  
思いっきりイカせてやろう…♥  
はあむっ…♥ ぢゅらうらうら…♥

そうだな…♥  
ふふ、たくさん気持ちいいおしっこを  
吐き出すのですよ、我が夫…♥  
この採取カップを埋めるような…♥  
男らしい**格好いい射精**を見せてください…♥  
頑張ってくださいね…♥ んっぢゆるるるっ…♥  
ぶぢゆるるるるるっっっ…♥



ふふ…♡ ようやく射精が収まったな…♡  
凄いな…♡ たった一回、射精しただけだぞ…♡  
私達の舌でとろとろに舐められて、  
たった一回射精しただけなのに…♡  
こんなにドバドバ射精して…♡  
あつという間にカップを満たしてしまった…♡  
流石マスターだ…♡  
私達の舌で虐められて、からかわれて…♡  
気持ちよかったんだな…♡

100ミリリットルカップをこつもあつさり満たしてしまえますか…♡  
普通の男性は、一回の射精で精々5ミリリットル程度しか  
射精できないそうですよ…♡ それの20倍も一度に射精できるとは…♡  
数々の修羅場を超えた分、生存本能が異常に発達して…♡  
生殖欲求の塊になってしまったのか…♡

ふふ…♡ それとも、私達に鍛えられたからなのか…♡  
マスターの射精量が多いとは口頃思っていたが…♡ それ程とはな…♡  
世の男はこれの1割にも満たない量しか射精できないのか…♡  
ふふ…♡ 私達のマスターは相当に優れた『オス』らしいな…♡  
姉上と私達を『メス』にして侍らせるには、  
これくらい軽く射精出来なければ務まらないからな…♡

おちんちんも大きくて…♡ 射精量も申し分ないつよつよのオスです…♡  
なのに、こつやっておちんちんを虐められるのが大好きで…♡  
よわよわマゾマスターなのが、本当に勿体ないですね…♡  
だからこそ愛し甲斐があるのですが…♡ 毎日私達が鍛えてあげても…♡

こうして簡単に大量射精して…♡  
日毎にますますおちんちんが弱くなってしまつ…♡  
遂には飽きもせず「今日も虐めて♡」  
などと乞つようになつてしまつたからな…♡ 全く…♡  
どうしようもないマゾマスターだな…♡  
ふふ、本当に可愛いぞ…♡

これはまたたくさん気持ちよくしてあげなければ…♡  
もっと強烈な刺激と…♡  
容赦のない搾精とで、マスターのおちんちんを  
私達好みに作り変えてあげないといけません…♡  
そのために二つ用意してきたものがあります…♡  
今から使うことにしましょう…♡ 私にとっておきですよ…♡

ふふ…♥ 現代には『オナホール』というもので、  
男の精液を搾り取る道具がある、ということを知っていますよ…♥  
男性のおちんちんをどう責めれば、一番気持ちがいいか…♥  
調べられるだけ調べましたので、どういふものかは心得ています…♥  
ですので…♥ このようなものを用意しました…♥

ほう…♥ なるほど、これは…♥  
姉上はえげつないな…♥  
このうねうね蠢く肉の塊…♥  
なかなか気色の悪いいかにも淫具…♥  
触手を生成してオナホールに束ねた…♥  
『触手オナホ』を作ったのか…♥  
気持ちの良さそうな道具を作ったものだ…♥

流石アルトリア、勘がいいですね…♥  
海魔由来の触手を少しばかり、  
魔術で弄り、育てました…♥  
飼料に私の母乳と、採取した我が夫の精液を与えて…♥  
男性の…♥  
我が夫の、快楽に弱すぎる情けないおちんちんに、  
**地獄のような快楽**を与えながら、  
沢山の精液を搾り取れるようにと…♥

聞いたかマスター…♥  
これからお前のおちんちんは…♥  
今にもお前のおちんちんに  
**貪られてしま**うらしいぞ…♥  
食われたら最後、枯れ果てるまで  
オスちんぽから絶対に離れそうにない、  
こわい**暴食触手オナホ**に  
搾り取られてしまっんだ…♥  
可哀想なおちんちんだな…♥

アルトリアの言うとおりですよ、我が夫…♥ それに…♥  
このオナホールは私の使役する使い魔のようなもの…♥  
どう責めるか、どう刺激するか…♥ もはや**私の手足同然**です…♥  
すべて私の意のままに動くようになっていきます…♥  
ふふ、まずは…♥ 我が夫の**限界勃起バキバキ**おちんちんを、もっともっと…♥  
**限界を超えて大きく**なってもらいましょうか…♥



ほら…♡ 行きなさい『我が子達』…♡

我が夫のおちんちんの中へ…♡

尿道をぬるぬるの粘液で擦り上げて…♡

輸精管にこぼりこびりついて、

きちぎちに詰まった精液を直接搾り取るのです…♡

くふふ…♡ マスターのおちんちんの鈴口を押し広げて…♡

触手がねじ込まれていくぞ…♡

2本目…♡ もう3本も入ってしまった…♡

マスターのおちんちんの尿道は随分太くて柔らかいんだな…♡

たくさん射精できる絶倫おちんちんだけはある…♡

この触手は気持ちいいだけではありませんよ…♡  
表面から媚薬効果のある粘液を分泌しながら、  
おちんちんに快楽を刷り込んでいくんです…♡  
男根の増大と強力な催淫効果…♡

あっ♡

あっ♡

にっ…にっ…にっ…にっ…にっ…

すっ♡ りゅっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

加えて感度の大幅な増幅効果を付与しています…♡  
触手が肌に触れるとたちどころに発情

射精したくて仕方がなくなってしまう劇物です…♡

こんなものをおちんちんに直接塗り込んだら…♡

おちんちんがイキっぱなしで…♡

壊れてしまうな…♡ 聞いているかマスター…♡

お前のおちんちんが壊されてしまつかもしれないぞ…♡

姉上ならば、すぐに再生させてくれるだろうがな…♡

当然です…♡ 魔女ですもの…♡

それに私達のマスターはおちんちんを

甘く虐められるのが大好きでしょう…♡

この程度のおちんちん虐めでは、

どうということはありません…♡

そうでしょう、我が夫…♡ ふふ…♡ そろそろ、  
媚薬効果でおちんちんの限界を超えて勃起して…♡

大きくなる頃合いですよ…♡

よく見ていなさい、アルトリア…♡

…ほう♡♡ 驚いたぞ…♡ 一回りは大きくなったな…♡  
**30センチはありそうな極太デカちんぽの完成だ…♡**  
ものすごい熱さだ…♡ 顔が火傷してしまいそうだ…♡  
オスの匂いもかなり濃くなって…♡  
鼻がオスの匂いに犯されているようだ…♡  
この触手の発情効果は本当らしい…♡♡

この触手オナホは…♡ 強力な媚薬を常時分泌して男を  
いつまでもイキ狂わせられる、私の自信作です…♡♡  
特に我が夫に完全に適合するよう調製しましたので…♡  
射精量も、今までの倍以上吐き出せるはずですよ…♡  
尤も…♡ 感度も今までのと比較にならないですが…♡

ふふ、ともすれば…♡  
ちよっとした刺激でもバキバキに勃起して…♡  
**常時とろとろおもらしする**ような  
情けない射精をこの拡張尿道から  
垂れ流し続けてしまふのか…♡  
これは**おむつが必要になる**かもな…♡

おちんちんおづい  
おづいおちんちんおづい

このおちんちんも…♡ 尿道から輸精管まで、オス汁を  
無理やり引きずり出す発情媚薬まみれ…♡  
すでに射精していても、何もおかしくありませんよ…♡  
この尿道を塞いでいる触手に塞がれて…♡  
**イキたくてもイケない、そんな快樂地獄を**  
味わっているのかも知れませんが…♡

気持ちいいか、マスター…♡  
それとも、**気持ち良すぎて辛い**のか…♡  
白いおしっこ、好きなだけおもらしても良いんだぞ…♡  
姉上…♡ これだけではないんだろう…♡  
わざわざマスターのおちんちんをこんなに大きくさせて…♡  
もつとえげつない責めを、用意しているんだろう…♡

当然でしょう…♡  
**私はこの男の妻であり、魔女…♡**  
マスターの快樂のためなら手を尽くす女ですもの…♡  
だそうだが、マスター…♡  
射精できなくて尿道に詰まったとろとろザーメン、  
いまから吐き出させてやるからな…♡



さあ…♥ 『我が子達』がいっぱい這い出して…♥  
貴方のおちんちんに今にも  
吸い付きたそうにせわしなく蠢いていますよ…♥  
これがすべて貴方のおちんちんにまとわりついて…♥  
きゅうきゅう搾り始めたら…♥  
どうなってしまおうでしょうね…♥

ふふ…♥ 恐ろしいな…♥  
尿道が触手に犯されて、虐められているお陰で、  
おちんちんが逃げられない…♥ それとも…♥  
気持ち良すぎて逃げようとする思えないのか…♥  
このままだと、マスターのおちんちは…♥

このいやらしい搾精触手オナホに  
食べられてしまいますね…♥  
ふふふ、マスター…♥  
覚悟を決めてくださいいね…♥

この子にマスターのおちんちんを  
食べさせるのは初めてですから…♥  
どれほど気持ちが良いのか…♥  
もしかしたら…♥

おちんちんが壊れてしまうかも、た…♥  
媚薬で極限まで感度が高められたおちんちんだ…♥  
私達がちよっと触れただけでも、  
イッてしまうようになるかも…♥  
息を吹きかけただけでブルブル震えて…♥  
敗北宣言お漏らし精液を噴き出す  
お前のデカちゃんぽ…♥ 見てみたくもあるな…♥

大丈夫ですよ、マスター…♥ 私の夫ですもの…♥  
どんなよわわおちんちんになったとしても…♥  
勃起もしていないのにびゆるびゆる精液を  
お漏らしするようになってしまっても…♥  
私達姉妹が愛してあげますから…♥  
好きなだけ気持ちよくなってくださいいね…♥



ふふ…触手が閉じたな…♡  
「がぼっ♡♡」と音がしたぞ…♡  
たくさんの触手がいやらしく絡みついて…♡  
おちんちんから種付精液を  
搾り出そうとにゆるにゆる動いているな…♡  
さながら牛の乳搾りのようだ…♡  
これはおちんちんばミルク搾りだな…♡

特濃媚薬をおちんちん全体に隙間なく塗りたくって…♡  
これ以上無く敏感になってるのに、  
おちんちん全部が触手に飲み込まれていて…♡  
どこにも快感を逃がせない…♡ 気持ちいいですかマスター…♡  
貴方のおちんちんに触手オナホがむしゃぶりついていきますよ…♡

ふふ…♡ この触手も、マスターの精液が大好きなのだろう…♡  
直ぐそこに極上のメスが二人もいるというのに…♡  
揉みがいのある頭より大きな四つのメートル超えおっぱいと…♡  
ぶっくり膨らんだ、マスターが毎日吸っている乳首には目もくれず…♡

一心不乱におちんちんにむしゃぶりつくなんてな…♡  
マスターのおちんちんがそんなに好きか…♡  
分かるぞ…♡ こんなにしやぶりがいのある  
ぷりっぷりの肉ストローはこの世に二つとないからな…♡

私達専用のマスターのおちんちんが、  
触手程度に横取りされている気分になってしまいますね…♡  
今頃この触手の中で…♡ 尿道を虐められながら…♡  
カリ首も裏筋も…♡  
媚薬まみれの触手にぞりぞり撫で上げられながら…♡  
おちんちんがぐちゃぐちゃに犯されているのですね…♡

ふふふ…♡ もし私におちんちんが生えていたら…♡  
汚い声を上げて、すぐに悶絶してしまうのだろうな…♡  
私の代わりにたくさんイキ狂え…♡ イッてイッて…♡  
触手に滅茶苦茶にされたよわよわおちんちんから…♡  
お漏らし精液をどろどろと垂れ流してしまえ…♡



ふふ…♡ 触手の隙間を押しつけて…♡ どくどく精液が噴き出してきているぞ…♡  
なんて下品で、いやらしい音なんだ…♡  
こんなにどろっどろの種付け精液を子宮に注がれては…♡  
妊娠どころか…♡ 双子や三つ子が出来てしまつかもしれない…♡

元来我々サーヴァントでは妊娠ができませんが…♡ 子作りをするとなれば…♡  
これとは比較にならない媚薬を作ります…♡  
30センチ超えの極太メス殺しおちんちんをイキ狂わせながら…♡  
一日中、腰が砕けるまで一心不乱に振って…♡  
真つ白な精液を部屋中に撒き散らしながら…♡  
私達二人をハメ潰してもらいますので…♡

# がっ射か河原…

私達二人だけではないぞ、姉上…♡ セイバーやランサーの私達も…♡  
マスターに大きくされた爆乳おっぱいを使って…♡  
毎日毎日、乳肉でマスターのおちんちんを  
虐めながら搾り取っている他のアルトリア達もた…♡

そうだったな…♡ 私の妹達は…♡  
このどうしようもないマゾ夫が大好きで…♡  
早漏おちんちんをおっぱいで包み込んで一日中搾り取るような…♡  
自分たちの頭より大きな爆乳おっぱいを  
おちんばケースにしている淫乱なメス達はかり…♡  
マスターの子種汁を子宮で食べ尽くしたいと…♡  
そう願わないはずは無いでしょう…♡

私も…♡ 他のクラスの私達も…♡  
『暴食』で『食いしん坊』だからな…♡  
たったの二日や三日で種付けが  
済むと思わないことだな、マスター…♡  
七日七晩は腰を振って…♡  
子作り孕ませドスケベセックスに  
精を出してもらおう…♡





もう…♡ 先程からずーっと…♡ 射精しっぱなしですね…♡  
射精を始めてから三分は経ちましたか…♡  
おちんちんが一回跳ねる度に…♡ 「どくっ♡どくっ♡どくっ♡」と…♡  
ものすごい量の精液が溢れ出してきています…♡  
まだ全然勢いが衰えません…♡

この大食らいの触手でもまるで食いきれずに、  
これだけの精液が漏れてくるとはな…♡ なんて射精量だ…♡  
もう1リットルは射精しているぞ…♡  
媚薬で強制的に精液の量が増えているとは言え、  
流石の絶倫だな…♡

これでこそ私達を侍らせるに相応しい夫ですね…♡  
これだけの精液を毎日私達姉妹に浴びせて…♡  
「このメス達は俺のモノだ」と  
マーキングしているのですね…♡  
また惚れてしまいます…♡

こんなに敏感で、よわよわおちんちんなのに…♡  
カリ高でぶつとい、  
バッキバキに勃起したつよつよおちんちんで…♡

だめ、まへっ、だめっ♡  
かみふりやろっ♡

吐き出される精液も、このテカ玉で射精できずに凝り固まって…♡  
グツグツ煮詰まった半固形こつてりザーメンだ…♡  
子宮が疼くな…♡♡♡ ふふ…♡  
触手オナホに犯されて、これだけ射精しても…♡  
萎える兆しが見えないぞ…♡

このまま私達が見守っていてやるから…♡  
好きなだけ触手に犯され、搾られ…♡  
種付精液を吐き出し続けるが良い…♡

まだまだ射精できるぞ、  
とでも言いたげな生意気おちんちんですね…♡  
ふふ…♡ 安心してください我が夫…♡  
この触手オナホは…♡  
まだまだ搾り足りなさそうですもの…♡

いつは私に似て食いしん坊だ…♡  
いつまで搾り続けるかな…♡ 楽しみだ…♡  
我が夫…♡ 夜はまたまた長いのです…♡  
正気を失わないよう、励ましてあげますから…♡  
ふふふ…♡♡♡ 頑張ってくださいね…♡

もう……♥ 早すぎですよ我が夫……♥

まだおちんちんに差し込んで、30秒も経っていませんよ……♥

それなのに私達が、「ふう〜……♥♥♥」なんて、

優しく息をおちんちんに吹きかけただけで、この有様ですか……♥

あまりにも簡単に、おちんちんがむくむく勃起して……♥

**バツキバキ**に硬くなってしまったな……♥

我慢汁も垂れてきているぞ……♥♥

ふふ、こんなに粘り気の有りそうな

とろとろの我慢汁は初めて見るな……♥

なにか勘違いしていませんか、我が夫……♥

今回は貴方の大好きな

『らぶらぶお搾りえっち』ではないのですよ……♥

ただの『魔力採取』……♥

こうやって、何をされているかもわからないまま……♥  
貴方のおもらし精液をひたすら  
搾り取るだけの、『作業』なのです……♥  
期待する事が、どこにあるというのです……♥

私達姉妹がお前のおちんちんで何をしようと、  
お前は想像するしか無い……♥♥

**可哀想なマスター**だ……♥♥ まさか……♥

これで興奮するなどという事はあるまい……♥  
それとも好き放題、おちんちんを使ってほしくて……♥  
私達に『魔力採取』を頼んだのか、マスター……♥

ふふ……♥ 本当に……♥♥

私達に虐められるのが大好きなんですから……♥

**オス失格**ですよ……♥ それならば……♥

マゾ夫の好きな方法で、

とびきり**悦ばせてから搾り取らなくては……♥**

たくさん気持ちよく漏らした精液は、

それだけ上質な魔力になりますからね……♥

手始めに、採取カップを精液で  
満杯にしてもらいましょうか……♥ では……♥

こうして私達のおっぱいの谷間にカップを置いて……  
ふふ、おっぱいが大きいというのは便利ですね……  
手で支えることもなく置ける…… それに……

見てくれがスケベこの上ないな……

4つのおっぱいの間で採取カップがゆらゆらと……  
呼吸に合わせて揺れて……

マスターがこの光景を見られないのはとっても残念だ……  
お前が大好きな…… 火照って汗でぬるぬるになった、  
たっぷり爆乳おっぱいの乳合わせなのにな……

ふふ、我が夫が見れば、おちんちんをスポンの中で  
バキバキに硬くするのが簡単に想像できますね……  
もう目の前のおちんちんは、  
とうの昔に**射精寸前**ですが……

今のおちんちんの状態で私達の姿が見えてしまったら……  
それだけで……

触つてもいないのに**暴発**してしまいますね……

ふふ…… 可哀想なマスターだ……

おっぱいで**虐められて搾られる**のも、

暴発射精してからかわれるのも、大好きだもんな……

そうだろう、このマゾ男め…… 大丈夫だぞ……

爆乳乳合わせが見えない代わりに、

たくさん気持ちよくさせてやるからな……

この舌を使ってな……

アルトリアの……

肉厚で長あいい、オスの**精液を搾る**ために作られた様な舌で

愛されて搾り取ってもらえる男など……

どの人類史でも、どの異間帯を探しても……

我が夫にしか許されていませんよ……

貴方の妻である私が認めた、

**貴方に心の底から心酔している我が妹の責め、**

存分にそのバッキバキおちんちんで堪能することです……

れろお…♡ んちゅ…♡ つちゆるるる…♡  
ふふ、なんて熱さだ…♡  
これではお前をイカせる前に、  
舌が焼けてしまうぞ…♡  
おちんちん、硬くしすぎだ…♡  
ただでさえ息を吹きかけられただけで  
こんなに硬くしているのにな…♡  
少し舐めただけで、ぶるぶる震えだして…♡  
もうイきそうになっているんだな…♡

アルトリアの舌技は超抜級…♡ 巧すぎるのです…♡  
お前の舌と口にかかれば、我が夫のよわよわおちんちんなど、  
**精液のぶりぶり出るぶっとい肉ストロー**と変わらないぞ…♡  
その技でどれ程、このおちんちんから精液を貪り食ってきたのか…♡  
誇って良いぞ、アルトリア…♡

姉上からこうも褒められるとはな…♡  
悪い気はしない…♡ じゆるるるっ…♡ つは…♡ 美味しいぞ…♡  
そこいらのハンパーガーを山ほど食べるよりも、よほど病み付きになる…♡  
いつまでも舐めていたい程だ…♡  
つちゆるるる…♡ んちゅらうらうら…♡

もう…♡ そんなに吸い付いて…♡  
こんなに愛されている我が夫が羨ましくなってしまう…♡  
私にもおちんちんを舐めさせろアルトリア…♡  
えろお…♡ ちゅぶっ…♡ はむう…♡  
んっちゆるるる…♡ はあああ…♡

姉上…♡ マスターのおちんちんは美味いだらう…♡  
もうすぐおもらし射精する頃だ…♡

**ドバドバ気持ちのいい白いおしっこが吐き出せるように…♡**  
思いっきりイカせてやろう…♡  
はあむっ…♡ ぢゅらうらうら…♡

そうだな…♡  
ふふ、たくさん気持ちいいおしっこを  
吐き出すのですよ、我が夫…♡  
この採取カップを埋めるような…♡  
男らしい**格好いい射精**を見せてください…♡  
頑張ってくださいね…♡ んっぢゆるるるっ…♡  
ぶぢゆるるるるるっっっ…♡



ふふ…♡ ようやく射精が収まったな…♡  
凄いな…♡ たった一回、射精しただけだぞ…♡  
私達の舌でとろとろに舐められて、  
たった一回射精しただけなのに…♡  
こんなにドバドバ射精して…♡  
あつという間にカップを満たしてしまった…♡  
流石マスターだ…♡  
私達の舌で虐められて、からかわれて…♡  
気持ちよかったんだな…♡

100ミリリットルカップをこつもあつさり満たしてしまえますか…♡  
普通の男性は、一回の射精で精々5ミリリットル程度しか  
射精できないそうですよ…♡ それの20倍も一度に射精できるとは…♡  
数々の修羅場を超えた分、生存本能が異常に発達して…♡  
生殖欲求の塊になってしまったのか…♡

ふふ…♡ それとも、私達に鍛えられたからなのか…♡  
マスターの射精量が多いとは口頃思っていたが…♡ それ程とはな…♡  
世の男はこれの1割にも満たない量しか射精できないのか…♡  
ふふ…♡ 私達のマスターは相当に優れた『オス』らしいな…♡  
姉上と私達を『メス』にして侍らせるには、  
これくらい軽く射精出来なければ務まらないからな…♡

おちんちんも大きくて…♡ 射精量も申し分ないつよつよのオスです…♡  
なのに、こつやっておちんちんを虐められるのが大好きで…♡  
よわよわマゾマスターなのが、本当に勿体ないですね…♡  
だからこそ愛し甲斐があるのですが…♡ 毎日私達が鍛えてあげても…♡

こうして簡単に大量射精して…♡  
日毎にますますおちんちんが弱くなってしまつ…♡  
遂には飽きもせず「今日も虐めて♡」  
などと乞つようになつてしまつたからな…♡ 全く…♡  
どうしようもないマゾマスターだな…♡  
ふふ、本当に可愛いぞ…♡

これはまたたくさん気持ちよくしてあげなければ…♡  
もっと強烈な刺激と…♡  
容赦のない搾精とで、マスターのおちんちんを  
私達好みに作り変えてあげないといけません…♡  
そのために二つ用意してきたものがあります…♡  
今から使うことにしましょう…♡ 私にとっておきですよ…♡

ふふ…♥ 現代には『オナホール』というもので、  
男の精液を搾り取る道具がある、ということを知っていますよ…♥  
男性のおちんちんをどう責めれば、一番気持ちがいいか…♥  
調べられるだけ調べましたので、どういふものかは心得ています…♥  
ですので…♥ このようなものを用意しました…♥

ほう…♥ なるほど、これは…♥  
姉上はえげつないな…♥  
このうねうね蠢く肉の塊…♥  
なかなか気色の悪いいかにも淫具…♥  
触手を生成してオナホールに束ねた…♥  
『触手オナホ』を作ったのか…♥  
気持ちの良さそうな道具を作ったものだ…♥

流石アルトリア、勘がいいですね…♥  
海魔由来の触手を少しばかり、  
魔術で弄り、育てました…♥  
飼料に私の母乳と、採取した我が夫の精液を与えて…♥  
男性の…♥  
我が夫の、快楽に弱すぎる情けないおちんちんに、  
**地獄のような快楽**を与えながら、  
沢山の精液を搾り取れるようにと…♥

聞いたかマスター…♥  
これからお前のおちんちんは…♥  
今にもお前のおちんちんに  
**貪られてしま**うらしいぞ…♥  
食われたら最後、枯れ果てるまで  
オスちんぽから絶対に離れそうにない、  
こわい**暴食触手オナホ**に  
搾り取られてしまっんだ…♥  
可哀想なおちんちんだな…♥

アルトリアの言うとおりですよ、我が夫…♥ それに…♥  
このオナホールは私の使役する使い魔のようなもの…♥  
どう責めるか、どう刺激するか…♥ もはや**私の手足同然**です…♥  
すべて私の意のままに動くようになっていきます…♥  
ふふ、まずは…♥ 我が夫の**限界勃起バキバキ**おちんちんを、もっともっと…♥  
**限界を超えて大きく**なってもらいましょうか…♥



ほら…♥ 行きなさい『我が子達』…♥

我が夫のおちんちんの中へ…♥

尿道をぬるぬるの粘液で擦り上げて…♥

輸精管にこぼりこびりついて、

きちぎちに詰まった精液を直接搾り取るのです…♥

くふふ…♥ マスターのおちんちんの鈴口を押し広げて…♥

触手がねじ込まれていくぞ…♥

2本目…♥ もう3本も入ってしまった…♥

マスターのおちんちんの尿道は随分太くて柔らかいんだな…♥

たくさん射精できる絶倫おちんちんなだけはある…♥

この触手は気持ちいいだけではありませんよ…♥  
表面から媚薬効果のある粘液を分泌しながら、  
おちんちんに快楽を刷り込んでいくんです…♥  
男根の増大と強力な催淫効果…♥

加えて感度の大幅な増幅効果を付与しています…♥  
触手が肌に触れるとたちどころに発情、

射精したくて仕方がなくなってしまう劇物です…♥  
こんなものをおちんちんに直接塗り込んだら…♥

おちんちんがイキっぱなしで…♥

壊れてしまうな…♥ 聞いているかマスター…♥

お前のおちんちんが壊されてしまつかもしれないぞ…♥

姉上ならば、すぐに再生させてくれるだろうがな…♥

当然です…♥ 魔女ですもの…♥

それに私達のマスターはおちんちんを

甘く虐められるのが大好きでしょう…♥

この程度のおちんちん虐めでは、

どうということはありません…♥

そうでしょう、我が夫…♥ ふふ…♥ そろそろ、  
媚薬効果でおちんちんの限界を超えて勃起して…♥

大きくなる頃合いですよ…♥

よく見ていなさい、アルトリア…♥

…ほう♡♡ 驚いたぞ…♡ 一回りは大きくなったな…♡  
**30センチはありそうな極太デカちんぽの完成だ…♡**  
ものすごい熱さだ…♡ 顔が火傷してしまいそうだ…♡  
オスの匂いもかなり濃くなって…♡  
鼻がオスの匂いに犯されているようだ…♡  
この触手の発情効果は本当らしい…♡♡

この触手オナホは…♡ 強力な媚薬を常時分泌して男を  
いつまでもイキ狂わせられる、私の自信作です…♡♡  
特に我が夫に完全に適合するよう調製しましたので…♡  
射精量も、今までの倍以上吐き出せるはずですよ…♡  
尤も…♡ 感度も今までのと比較にならないですが…♡

ふふ、ともすれば…♡  
ちよっとした刺激でもバキバキに勃起して…♡  
**常時とろとろおもらしする**ような  
情けない射精をこの拡張尿道から  
垂れ流し続けてしまふのか…♡  
これは**おむつが必要になる**かもな…♡

このおちんちんも…♡ 尿道から輸精管まで、オス汁を  
無理やり引きずり出す発情媚薬まみれ…♡  
すでに射精していても、何もおかしくありませんよ…♡  
この尿道を塞いでいる触手に塞がれて…♡  
**イキたくてもイケない、そんな快樂地獄を**  
味わっているのかも知れませんが…♡

気持ちいいか、マスター…♡  
それとも、**気持ち良すぎて辛い**のか…♡  
白いおしっこ、好きなだけおもらしても良いんだぞ…♡  
姉上…♡ これだけではないんだろう…♡  
わざわざマスターのおちんちんをこんなに大きくさせて…♡  
もつとえげつない責めを、用意しているんだろう…♡

当然でしょう…♡

**私はこの男の妻であり、魔女…♡**

マスターの快樂のためなら手を尽くす女ですもの…♡  
だそうだ、マスター…♡  
射精できなくて尿道に詰まったとろとろザーメン、  
いまから吐き出させてやるからな…♡





さあ…♥ 『我が子達』がいっぱい這い出して…♥  
貴方のおちんちんに今にも  
吸い付きたそうにせわしなく蠢いていますよ…♥  
これがすべて貴方のおちんちんにまとわりついて…♥  
きゅきゅう搾り始めたら…♥  
どうなってしまおうでしょうね…♥

ふふ…♥ 恐ろしいな…♥  
尿道が触手に犯されて、虐められているお陰で、  
おちんちんが逃げられない…♥ それとも…♥  
気持ち良すぎて逃げようとする思えないのか…♥  
このままだと、マスターのおちんちんは…♥

このいやらしい搾精触手オナホに  
食べられてしまいますね…♥  
ふふふ、マスター…♥  
覚悟を決めてくださいいね…♥

この子にマスターのおちんちんを  
食べさせるのは初めてですから…♥  
どれほど気持ちが良いのか…♥  
もしかしたら…♥

おちんちんが壊れてしまうかも、た…♥  
媚薬で極限まで感度が高められたおちんちんだ…♥  
私達がちよっと触れただけでも、  
イッてしまうようになるかも…♥  
息を吹きかけただけでブルブル震えて…♥  
敗北宣言お漏らし精液を噴き出す  
お前のデカちゃんぽ…♥ 見てみたくもあるな…♥

大丈夫ですよ、マスター…♥ 私の夫ですもの…♥  
どんなよわわおちんちんになったとしても…♥  
勃起もしていないのにびゆるびゆる精液を  
お漏らしするようになってしまっても…♥  
私達姉妹が愛してあげますから…♥  
好きなだけ気持ちよくなってくださいいね…♥



ふふ…触手が閉じたな…♡♡  
「がぼっ♡♡」と音がしたぞ…♡  
たくさんの触手がいやらしく絡みついて…♡  
おちんちんから種付精液を  
搾り出そうとにゆるにゆる動いているな…♡  
さながら牛の乳搾りのようだ…♡  
これはおちんちんばミルク搾りだな…♡

特濃媚薬をおちんちん全体に隙間なく塗りたくって…♡  
これ以上無く敏感になってるのに、  
おちんちん全部が触手に飲み込まれていて…♡  
どこにも快感を逃がせない…♡ 気持ちいいですかマスター…♡  
貴方のおちんちんに触手オナホがむしゃぶりついていきますよ…♡

ふふ…♡ この触手も、マスターの精液が大好きなのだろう…♡  
直ぐそこに極上のメスが二人もいるというのに…♡  
揉みがいのある頭より大きな四つのメートル超えおっぱいと…♡  
ぶっくり膨らんだ、マスターが毎日吸っている乳首には目もくれず…♡

一心不乱におちんちんにむしゃぶりつくなんてな…♡  
マスターのおちんちんがそんなに好きか…♡  
分かるぞ…♡ こんなにしゃぶりがいのある  
ぷりっぷりの肉ストローはこの世に二つとないからな…♡

私達専用のマスターのおちんちんが、  
触手程度に横取りされている気分になってしまいますね…♡  
今頃この触手の中で…♡ 尿道を虐められながら…♡

カリ首も裏筋も…♡  
媚薬まみれの触手にぞりぞり撫で上げられながら…♡  
おちんちんがぐちゃぐちゃに犯されているのですね…♡

ふふふ…♡ もし私におちんちんが生えていたら…♡  
汚い声を上げて、すぐに悶絶してしまうのだろうな…♡  
私の代わりにたくさんイキ狂え…♡ イッてイッて…♡  
触手に滅茶苦茶にされたよわよわおちんちんから…♡  
お漏らし精液をどろどろと垂れ流してしまえ…♡

ふふ…♡ 触手の隙間を押しつけて…♡ どんどん精液が噴き出してきているぞ…♡  
なんて下品で、いやらしい音なんだ…♡  
こんなにどろっどろの種付け精液を子宮に注がれては…♡  
妊娠どころか…♡ 双子や三つ子が出来てしまつかもしれない…♡

元来我々サーヴァントでは妊娠ができませんが…♡ 子作りをするとなれば…♡  
これとは比較にならない媚薬を作ります…♡  
30センチ超えの極太メス殺しおちんちんをイキ狂わせながら…♡  
一日中、腰が砕けるまで二心不乱に振って…♡  
真つ白な精液を部屋中に撒き散らしながら…♡  
私達二人をハメ潰してもらいますので…♡

私達二人だけではないぞ、姉上…♡ セイバーやランサーの私達も…♡  
マスターに大きくされた爆乳おっぱいを使って…♡

毎日毎日、乳肉でマスターのおちんちんを  
虐めながら搾り取っている他のアルトリア達もた…♡

そうだったな…♡ 私の妹達は…♡  
このどうしようもないマゾ夫が大好きで…♡  
早漏おちんちんをおっぱいで包み込んで一日中搾り取るような…♡  
自分たちの頭より大きな爆乳おっぱいを  
おちんばケースにしている淫乱なメス達ばかり…♡  
マスターの子種汁を子宮で食べ尽くしたいと…♡  
そう願わないはずは無いでしょう…♡

私も…♡ 他のクラスの私達も…♡  
『暴食』で『食いしん坊』だからな…♡  
たったの二日や三日で種付けが  
済むと思わないことだな、マスター…♡  
七日七晩は腰を振って…♡  
子作り孕ませドスケベセックスに  
精を出してもらおう…♡

もう…♡ 先程からずーっと…♡ 射精しっぱなしですね…♡  
射精を始めてから三分は経ちましたか…♡  
おちんちんが一回跳ねる度に…♡ 「どくっ♡どくっ♡どくっ♡」と…♡  
ものすごい量の精液が溢れ出してきています…♡  
まだ全然勢いが衰えません…♡

この大食らいの触手でもまるで食いきれずに、  
これだけの精液が漏れてくるとはな…♡ なんて射精量だ…♡  
もう1リットルは射精しているぞ…♡  
媚薬で強制的に精液の量が増えているとは言え、  
流石の絶倫だな…♡

これでこそ私達を侍らせるに相応しい夫ですね…♡  
これだけの精液を毎日私達姉妹に浴びせて…♡  
「このメス達は俺のモノだ」と  
マーキングしているのですね…♡  
また惚れてしまいます…♡

こんなに敏感で、よわよわおちんちんなのに…♡  
カリ高でぶつとい、  
バッキバキに勃起したつよつよおちんちんで…♡

吐き出される精液も、このテカ玉で射精できずに凝り固まって…♡  
グツグツ煮詰まった半固形こつてりザーメンだ…♡  
子宮が疼くな…♡♡♡ ふふ…♡  
触手オナホに犯されて、これだけ射精しても…♡  
萎える兆しが見えないぞ…♡

このまま私達が見守っていてやるから…♡  
好きなだけ触手に犯され、搾られ…♡  
種付精液を吐き出し続けるが良い…♡  
こいつは私に似て食いしん坊だ…♡  
いつまで搾り続けるかな…♡ 楽しみだ…♡

まだまだ射精できるぞ、  
とでも言いたげな生意気おちんちんですね…♡  
ふふ…♡ 安心してください我が夫…♡  
この触手オナホは…♡  
まだまだ搾り足りなさそうですもの…♡

我が夫…♡ 夜はまたまた長いのです…♡  
正気を失わないよう、励ましてあげますから…♡  
ふふ…♡♡ 頑張ってくださいね…♡

























もう……♥ 早すぎですよ我が夫……♥

まだおちんちんに差し込んで、30秒も経っていませんよ……♥

それなのに私達が、「ふう〜……♥♥♥」なんて、

優しく息をおちんちんに吹きかけただけで、この有様ですか……♥

あまりにも簡単に、おちんちんがむくむく勃起して……♥

**バツキバキ**に硬くなってしまったな……♥

我慢汁も垂れてきているぞ……♥♥

ふふ、こんなに粘り気の有りそうな

とろとろの我慢汁は初めて見るな……♥

なにか勘違いしていませんか、我が夫……♥

今回は貴方の大好きな

『らぶらぶお搾りえっち』ではないのですよ……♥

ただの『魔力採取』……♥

こうやって、何をされているかもわからないまま……♥  
貴方のおもらし精液をひたすら  
搾り取るだけの、『作業』なのです……♥  
期待する事が、どこにあるというのです……♥

私達姉妹がお前のおちんちんで何をしようと、  
お前は想像するしか無い……♥♥

**可哀想なマスター**だ……♥ まさか……♥

これで興奮するなどという事はあるまい……♥  
それとも好き放題、おちんちんを使ってほしくて……♥  
私達に『魔力採取』を頼んだのか、マスター……♥

ふふ……♥ 本当に……♥♥

私達に虐められるのが大好きなんですから……♥

**オス失格**ですよ……♥ それならば……♥

マゾ夫の好きな方法で、

とびきり**悦ばせてから搾り取らなくては……♥**

たくさん気持ちよく漏らした精液は、

それだけ上質な魔力になりますからね……♥

手始めに、採取カップを精液で

満杯にしてもらいましょうか……♥ では……♥



こうして私達のおっぱいの谷間にカップを置いて……  
ふふ、おっぱいが大きいというのは便利ですね……  
手で支えることもなく置ける…… それに……

見てくれがスケベこの上ないな……

4つのおっぱいの間で採取カップがゆらゆらと……  
呼吸に合わせて揺れて……

マスターがこの光景を見られないのはとっても残念だ……  
お前が大好きな…… 火照って汗でぬるぬるになった、  
たっぷり爆乳おっぱいの乳合わせなのにな……

ふふ、我が夫が見れば、おちんちんをスポンの中で  
バキバキに硬くするのが簡単に想像できますね……  
もう目の前のおちんちんは、  
とうの昔に**射精寸前**ですが……

今のおちんちんの状態で私達の姿が見えてしまったら……  
それだけで……

触つてもいないのに**暴発**してしまいますね……

ふふ…… 可哀想なマスターだ……

おっぱいで**虐められて搾られる**のも、

暴発射精してからかわれるのも、大好きだもんな……

そうだろう、このマゾ男め…… 大丈夫だぞ……

爆乳乳合わせが見えない代わりに、

たくさん気持ちよくさせてやるからな……

この舌を使ってな……

アルトリアの……

肉厚で長あい、オスの**精液を搾る**ために作られた様な舌で

愛されて搾り取ってもらえる男など……

どの人類史でも、どの異間帯を探しても……

我が夫にしか許されていませんよ……

貴方の妻である私が認めた、

**貴方に心の底から心酔している我が妹の責め、**

存分にそのバッキバキおちんちんで堪能することです……

れろお…♡ んちゅ…♡ つちゆるるる…♡  
ふふ、なんて熱さだ…♡  
これではお前をイカせる前に、  
舌が焼けてしまうぞ…♡  
おちんちん、硬くしすぎだ…♡  
ただでさえ息を吹きかけられただけで  
こんなに硬くしているのにな…♡  
少し舐めただけで、ぶるぶる震えだして…♡  
もうイきそうになっているんだな…♡

アルトリアの舌技は超抜級…♡ 巧すぎるのです…♡  
お前の舌と口にかかれば、我が夫のよわよわおちんちんなど、  
**精液のぶりぶり出るぶっとい肉ストロー**と変わらないぞ…♡  
その技でどれ程、このおちんちんから精液を貪り食ってきたのか…♡  
誇って良いぞ、アルトリア…♡

姉上からこうも褒められるとはな…♡  
悪い気はしない…♡ じゆるるるっ…♡ つは…♡ 美味いぞ…♡  
そこいらのハンバーガーを山ほど食べるよりも、よほど病み付きになる…♡  
**いつまでも舐めていたい程だ…♡**  
つちゆるるる…♡ んちゅらうらうら…♡

もう…♡ そんなに吸い付いて…♡  
こんなに愛されている我が夫が羨ましくなってしまう…♡  
私にもおちんちんを舐めさせろアルトリア…♡  
えろお…♡ ちゅぶっ…♡ はむう…♡  
んっちゆるるる…♡ はあああ…♡

姉上…♡ マスターのおちんちんは美味いだらう…♡  
もうすぐおもらし射精する頃だ…♡  
**ドバドバ気持ちのいい白いおしっこが吐き出せるように…♡**  
思いっきりイカせてやろう…♡  
はあむっ…♡ ぢゅらうらうら…♡

そうだな…♡  
ふふ、たくさん気持ちいいおしっこを  
吐き出すのですよ、我が夫…♡  
この採取カップを埋めるような…♡  
男らしい**格好いい射精**を見せてください…♡  
頑張ってくださいね…♡ んっぢゆるるるっ…♡  
ぶぢゆるるるるるっっっ…♡



ふふ…♡ ようやく射精が収まったな…♡  
凄いな…♡ たった一回、射精しただけだぞ…♡  
私達の舌でとろとろに舐められて、  
たった一回射精しただけなのに…♡  
こんなに**ドバドバ**射精して…♡  
あつという間にカップを満たしてしまった…♡  
流石マスターだ…♡  
私達の舌で虐められて、からかわれて…♡  
気持ちよかったんだな…♡

100ミリリットルカップをこつもあつさり満たしてしまえますか…♡  
普通の男性は、一回の射精で**精々5ミリリットル**程度しか  
射精できないそうですよ…♡ その**20倍**も一度に射精できるとは…♡  
数々の修羅場を超えた分、生存本能が異常に発達して…♡  
**生殖欲求の塊**になってしまったのか…♡

ふふ…♡ それとも、私達に鍛えられたからなのか…♡  
マスターの射精量が多いとは口頃思っていたが…♡ それ程とはな…♡  
世の男はこれの1割にも満たない量しか射精できないのか…♡  
ふふ…♡ 私達のマスターは**相当に優れた『オス』**らしいな…♡  
**姉上と私達を『メス』**にして侍らせるには、  
これくらい軽く射精出来なければ務まらないからな…♡

おちんちんも大きくて…♡ 射精量も申し分ないつよつよのオスです…♡  
なのに、こつやっておちんちんを虐められるのが大好きで…♡  
**よわよわマゾマスター**なのが、本当に勿体ないですね…♡  
だからこそ愛し甲斐があるのですが…♡ 毎日私達が鍛えてあげても…♡

こうして簡単に大量射精して…♡  
日毎にますますおちんちんが弱くなってしまつ…♡  
遂には飽きもせず「今日も虐めて♡」  
などと乞つようになつてしまつたからな…♡ 全く…♡  
**どうしようもないマゾマスター**だな…♡  
ふふ、本当に可愛いぞ…♡

これはまたたくさん気持ちよくしてあげなければ…♡  
もつと強烈な刺激と…♡  
容赦のない搾精とで、マスターのおちんちんを  
**私達好みに作り変えて**あげないといけません…♡  
そのために二つ用意してきたものがあります…♡  
今から使うことにしましょう…♡ 私にとっておきですよ…♡

ふふ…♥ 現代には『オナホール』というもので、  
男の精液を搾り取る道具がある、ということを知っていますよ…♥  
男性のおちんちんをどう責めれば、一番気持ちがいいか…♥  
調べられるだけ調べましたので、どういふものは心得ています…♥  
ですので…♥ このようなものを用意しました…♥

ほう…♥ なるほど、これは…♥  
姉上はえげつないな…♥  
このうねうね蠢く肉の塊…♥  
なかなか気色の悪いいかにも淫具…♥  
触手を生成してオナホールに束ねた…♥  
『触手オナホ』を作ったのか…♥  
気持ちの良さそうな道具を作ったものだ…♥

流石アルトリア、勘がいいですね…♥  
海魔由来の触手を少しばかり、  
魔術で弄り、育てました…♥  
飼料に私の母乳と、採取した我が夫の精液を与えて…♥  
男性の…♥  
我が夫の、快楽に弱すぎる情けないおちんちんに、  
**地獄のような快楽**を与えながら、  
沢山の精液を搾り取れるようにと…♥

聞いたかマスター…♥  
これからお前のおちんちんは…♥  
今にもお前のおちんちんに  
**貪られてしま**うらしいぞ…♥  
食われたら最後、枯れ果てるまで  
オスちんぽから絶対に離れそうにない、  
こわい**暴食触手オナホ**に  
搾り取られてしまっんだ…♥  
可哀想なおちんちんだな…♥

アルトリアの言うとおりですよ、我が夫…♥ それに…♥  
このオナホールは私の使役する使い魔のようなもの…♥  
どう責めるか、どう刺激するか…♥ もはや**私の手足同然**です…♥  
すべて私の意のままに動くようになっていきます…♥  
ふふ、まずは…♥ 我が夫の**限界勃起バキバキ**おちんちんを、もっともっと…♥  
**限界を超えて大きく**なってもらいましょうか…♥



ほら…♡ 行きなさい『我が子達』…♡

我が夫のおちんちんの中へ…♡

尿道をぬるぬるの粘液で擦り上げて…♡

輸精管にこぼりこびりついて、

きちぎちに詰まった精液を直接搾り取るのです…♡

くふふ…♡ マスターのおちんちんの鈴口を押し広げて…♡

触手がねじ込まれていくぞ…♡

2本目…♡ もう3本も入ってしまった…♡

マスターのおちんちんの尿道は随分太くて柔らかいんだな…♡

たくさん射精できる絶倫おちんちんだけはある…♡

この触手は気持ちいいだけではありませんよ…♡  
表面から媚薬効果のある粘液を分泌しながら、  
おちんちんに快楽を刷り込んでいくんです…♡  
男根の増大と強力な催淫効果…♡



加えて感度の大幅な増幅効果を付与しています…♡

触手が肌に触れるとたちどころに発情

射精したくて仕方がなくなってしまう劇物です…♡

こんなものをおちんちんに直接塗り込んだら…♡

おちんちんがイキっぱなしで…♡

壊れてしまうな…♡ 聞いているかマスター…♡

お前のおちんちんが壊されてしまつかもしれないぞ…♡

姉上ならば、すぐに再生させてくれるだろうがな…♡

当然です…♡ 魔女ですもの…♡

それに私達のマスターはおちんちんを

甘く虐められるのが大好きでしょう…♡

この程度のおちんちん虐めでは、

どうということはありません…♡

そうでしょう、我が夫…♡ ふふ…♡ そろそろ、

媚薬効果でおちんちんの限界を超えて勃起して…♡

大きくなる頃合いですよ…♡

よく見ていなさい、アルトリア…♡

…ほう♡♡ 驚いたぞ…♡ 一回りは大きくなったな…♡  
**30センチはありそうな極太デカちゃんぽの完成だ…♡**  
ものすごい熱さだ…♡ 顔が火傷してしまいそうだ…♡  
オスの匂いもかなり濃くなつて…♡  
鼻がオスの匂いに犯されているようだ…♡  
この触手の発情効果は本当らしい…♡♡

この触手オナホは…♡ 強力な媚薬を常時分泌して男を  
いつまでもイキ狂わせられる、私の自信作です…♡♡  
特に我が夫に完全に適合するよう調製しましたので…♡  
射精量も、今までの倍以上吐き出せるはずですよ…♡  
尤も…♡ 感度も今までのと比較にならないですが…♡

ふふ、ともすれば…♡  
ちよっとした刺激でもバキバキに勃起して…♡  
常時とろとろおもらしするような  
情けない射精をこの拡張尿道から  
垂れ流し続けてしまふのか…♡  
これはおむつが必要になるかもな…♡

このおちんちんも…♡ 尿道から輸精管まで、オス汁を  
無理やり引きずり出す発情媚薬まみれ…♡  
すでに射精していても、何もおかしくありませんよ…♡  
この尿道を塞いでいる触手に塞がれて…♡  
イキたくてもイケない、そんな**快樂地獄**を  
味わっているのかも知れませんが…♡

気持ちいいか、マスター…♡

それとも、**気持ち良すぎて辛いのか…♡**

白いおしっこ、好きなだけおもらしても良いんだぞ…♡

姉上…♡ これだけではないんだろう…♡

わざわざマスターのおちんちんをこんなに大きくさせて…♡  
もつとえげつない責めを、用意しているんだろう…♡

当然でしょう…♡

**私はこの男の妻であり、魔女…♡**

マスターの快樂のためなら手を尽くす女ですもの…♡

だそうだ、マスター…♡

射精できなくて尿道に詰まったとろとろザーメン、  
いまから吐き出させてやるからな…♡



さあ…♥ 『我が子達』がいっぱい這い出して…♥  
貴方のおちんちんに今にも  
吸い付きたそうにせわしなく蠢いていますよ…♥  
これがすべて貴方のおちんちんにまとわりついて…♥  
きゅきゅう搾り始めたら…♥  
どうなってしまおうでしょうね…♥

ふふ…♥ 恐ろしいな…♥  
尿道が触手に犯されて、虐められているお陰で、  
おちんちんが逃げられない…♥ それとも…♥  
気持ち良すぎて逃げようとする思えないのか…♥  
このままだと、マスターのおちんちんは…♥

このいやらしい搾精触手オナホに  
食べられてしまいますね…♥  
ふふふ、マスター…♥  
覚悟を決めてくださいいね…♥

この子にマスターのおちんちんを  
食べさせるのは初めてですから…♥  
どれほど気持ちが良いのか…♥  
もしかしたら…♥

おちんちんが壊れてしまうかも、た…♥  
媚薬で極限まで感度が高められたおちんちんだ…♥  
私達がちよっと触れただけでも、  
イッてしまうようになるかもな…♥  
息を吹きかけただけでブルブル震えて…♥  
**敗北宣言お漏らし精液を噴き出す**  
お前のデカちゃんぽ…♥ 見てみたくもあるな…♥

大丈夫ですよ、マスター…♥ 私の夫ですもの…♥  
どんなよわわおちんちんになったとしても…♥  
**勃起もしていないのにびゆるびゆる精液を**  
**お漏らしするようになってしまっても…♥**  
私達姉妹が愛してあげますから…♥  
好きなだけ気持ちよくなってくださいいね…♥



ふふ…触手が閉じたな…  
「がぼっ♡♡」と音がしたぞ…  
たくさんの触手がいやらしく絡みついて…  
おちんちんから種付精液を  
搾り出そうとにゆるにゆる動いているな…  
さながら牛の乳搾りのようだ…  
これはおちんちんばミルク搾りだな…

特濃媚薬をおちんちん全体に隙間なく塗りたくって…  
これ以上無く敏感になっているのに、  
おちんちん全部が触手に飲み込まれていて…  
どこにも快感を逃がせない… 気持ちいいですかマスター…  
貴方のおちんちんに触手オナホがむしゃぶりついていきますよ…

ふふ… この触手も、マスターの精液が大好きなのだろう…  
直ぐそこに極上のメスが二人もいるというのに…  
揉みがいのある頭より大きな四つのメートル超えおっぱいと…  
ぶっくり膨らんだ、マスターが毎日吸っている乳首には目もくれず…

一心不乱におちんちんにむしゃぶりつくなんてな…  
マスターのおちんちんがそんなに好きか…  
分かるぞ… こんなにしゃぶりがいのある  
ぷりっぷりの肉ストローはこの世に二つとないからな…

私達専用のマスターのおちんちんが、  
触手程度に横取りされている気分になってしまいますね…  
今頃この触手の中で… 尿道を虐められながら…

カリ首も裏筋も…  
媚薬まみれの触手にぞりぞり撫で上げられながら…  
おちんちんがぐちゃぐちゃに犯されているのですね…

ふふふ… もし私におちんちんが生えていたら…  
汚い声を上げて、すぐに悶絶してしまうのだろうな…  
私の代わりにたくさんイキ狂え… イッてイッて…  
触手に滅茶苦茶にされたよわよわおちんちんから…  
お漏らし精液をどろどろと垂れ流してしまえ…



ふふ…♡ 触手の隙間を押しつけて…♡ どんどん精液が噴き出してきているぞ…♡  
なんて下品で、いやらしい音なんだ…♡  
こんなにどろっどろの種付け精液を子宮に注がれては…♡  
妊娠どころか…♡ 双子や三つ子が出来てしまつかもしれない…♡

元来我々サーヴァントでは妊娠ができませんが…♡ 子作りをするとなれば…♡  
これとは比較にならない媚薬を作ります…♡  
30センチ超えの極太メス殺しおちんちんをイキ狂わせながら…♡  
一日中、腰が砕けるまで二心不乱に振って…♡  
真つ白な精液を部屋中に撒き散らしながら…♡  
私達二人をハメ潰してもらいますので…♡

私達二人だけではないぞ、姉上…♡ セイバーやランサーの私達も…♡  
マスターに大きくされた爆乳おっぱいを使って…♡

毎日毎日、乳肉でマスターのおちんちんを  
虐めながら搾り取っている他のアルトリア達もた…♡

そうだったな…♡ 私の妹達は…♡  
このどうしようもないマゾ夫が大好きで…♡  
早漏おちんちんをおっぱいで包み込んで一日中搾り取るような…♡  
自分たちの頭より大きな爆乳おっぱいを  
おちんばケースにしている淫乱なメス達ばかり…♡  
マスターの子種汁を子宮で食べ尽くしたいと…♡  
そう願わないはずは無いでしょう…♡

私も…♡ 他のクラスの私達も…♡  
『暴食』で『食いしん坊』だからな…♡  
たったの二日や三日で種付けが  
済むと思わないことだな、マスター…♡  
七日七晩は腰を振って…♡  
子作り孕ませドスケベセックスに  
精を出してもらおう…♡

もう…♡ 先程からずーっと…♡ 射精しっぱなしですね…♡  
射精を始めてから三分は経ちましたか…♡  
おちんちんが一回跳ねる度に…♡ 「どくっ♡どくっ♡どくっ♡」と…♡  
ものすごい量の精液が溢れ出してきています…♡  
まだ全然勢いが衰えません…♡

この大食らいの触手でもまるで食いきれずに、  
これだけの精液が漏れてくるとはな…♡ なんて射精量だ…♡  
もう1リットルは射精しているぞ…♡  
媚薬で強制的に精液の量が増えているとは言え、  
流石の絶倫だな…♡

これでこそ私達を侍らせるに相応しい夫ですね…♡  
これだけの精液を毎日私達姉妹に浴びせて…♡  
「このメス達は俺のモノだ」と  
マーキングしているのですね…♡  
また惚れてしまいます…♡

こんなに敏感で、よわよわおちんちんなのに…♡  
カリ高でぶつとい、  
バッキバキに勃起したつよつよおちんちんで…♡

吐き出される精液も、このテカ玉で射精できずに凝り固まって…♡  
グツグツ煮詰まった半固形こつてりザーメンだ…♡  
子宮が疼くな…♡♡♡ ふふ…♡  
触手オナホに犯されて、これだけ射精しても…♡  
萎える兆しが見えないぞ…♡

このまま私達が見守っていてやるから…♡  
好きなだけ触手に犯され、搾られ…♡  
種付精液を吐き出し続けるが良い…♡  
こいつは私に似て食いしん坊だ…♡  
いつまで搾り続けるかな…♡ 楽しみだ…♡

まだまだ射精できるぞ、  
とでも言いたげな生意気おちんちんですね…♡  
ふふ…♡ 安心してください我が夫…♡  
この触手オナホは…♡  
まだまだ搾り足りなさそうですもの…♡

我が夫…♡ 夜はまたまた長いのです…♡  
正気を失わないよう、励ましてあげますから…♡  
ふふ…♡♡ 頑張ってくださいね…♡